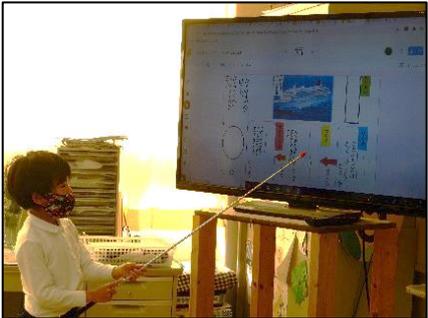


低学年【慣れる】	きゃくせんのずかんをつくろう ～Jamboardで並び替え～
タブレット使用形態：一人一台	第1学年 国語科 「いろいろなふね」
【使用したアプリケーション】	Google 「Jamboard」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 音読をする。</p> <p>2 「やく目」「つくり」「できること」に合うカードを選ぶ。</p>   <p>3 班で話し合う。</p> <p>4 全体共有する。</p>  <p>5 振り返り</p>	<p>○ きゃくせんの「やく目」「つくり」「できること」は何か考えさせながら読ませる。</p> <p>○ 6枚のカードをきゃくせんの「やく目」「つくり」「できること」の三つの視点でグループに分けさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント <u>Google「Jamboard」</u></p> <p>「Jamboard」を使うことで、話し合ったり、友達の発表を聞き合ったりしながら一人一人がカードを操作することができる。また、カードを分類した後は、大事な言葉に印を付けたり、それぞれの言葉のつながりを線でつないだりできる。</p> </div> <p>○ 個人の考えを基に、班でタブレットを見せ合い、指し示しながら話し合う。</p> <p>○ あえて誤答を提示し、なぜそれがいけないのか、言葉と言葉のつながりに着目させながら図鑑を完成させる。</p> <p>○ きゃくせんでは、「やく目」に合う「つくり」になっていることを確認し、次時の学習へつなげる。</p>

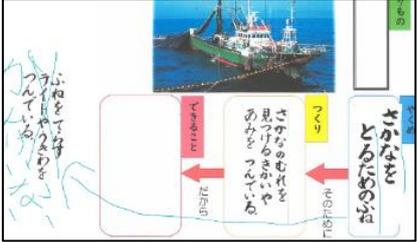
成果と課題

○何度も並び替えることができるので、どのカードがどの項目に入るのか分かりやすかった。

○ペンで線を引いたり、文字を書いたりしながら、「やく目」に合う「つくり」になるためには、言葉のつながりが関係あることに気付くことができた。

▲誤ってページを消してしまい、戸惑っている児童の姿が見られた。

低学年【慣れる】	ぎょせんのずかんをつくろう ～Jamboardで並び替え、書き込み～	
タブレット使用形態：一人一台	第1学年 国語科 「いろいろなふね」	
【使用したアプリケーション】	Google デジタル教科書	「Jamboard」 「関連資料」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 音読をする。</p>	<p>○ ギョセんの「やく目」「つくり」「できること」は何か考えさせながら読ませる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント <u>デジタル教科書「関連資料」</u></p> <p>デジタル教科書の動画を見せ、分からなかった言葉の意味を理解させたり、様子をイメージしたりさせる。</p> </div> 
<p>2 「やく目」「つくり」「できること」に合うカードを選ぶ。</p> 	<p>○ 3枚のカードの中から、ギョセんの「やく目」「つくり」「できること」に合うカードを選ばせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント <u>Google「Jamboard」</u></p> <p>Jamboardを利用することで、話し合ったり、友達の発表を聞き合ったりしながら一人一人がカードを操作することができる。また、カードを分類した後は、大事な言葉に印を付けたり、それぞれの言葉のつながりを線でつないだりできる。また、不要なカードには、ペンで印をつけることで、他のカードと関係のないことが視覚的に分かるようにする。</p> </div>
<p>3 「やくめ」や「つくり」に合った「できること」を考える。</p> 	
<p>4 全体共有し、本時を振り返る。</p>	<p>○ 「やく目」と「つくり」だけでなく、「やく目」「つくり」「できること」の言葉にはそれぞれ関連性があることに気付かせる。</p>

成果と課題

- ペンで書きこませることで、不必要なカードを視覚的に分かるようにできた。
- 一人一人がしっかりと自分の考えをもつことができた。
- 何度も並び替えることができるので、どのカードがどの項目に入るのか分かりやすかった。

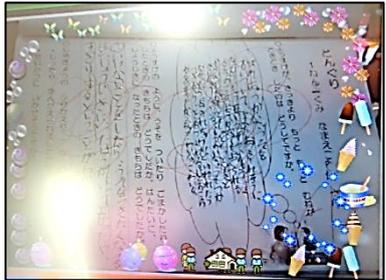
低学年【慣れる】	おすすめの本を紹介カードをつくろう ～スライドで紹介カードづくり～	
タブレット使用形態：一人一台	第1学年 国語科 「本はともだち」	
【使用したアプリケーション】	Google カメラ	「スライド」 「写真の撮影」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 スライドを開く。</p> <p>2 自分が紹介したいページを写真に撮り、スライドへ貼り付ける。</p>  <p>3 特に見てほしい箇所に丸印を付ける。</p>  <p>4 紹介文を書き、読む練習をする。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ 児童に送信するスライドを用意しておく。</p> <p>○ 「挿入」→「画像」→「カメラ」の順でカメラ機能を出し、自分が紹介したいページがよく映るように近さを考えて撮影させる。</p> <p>○ 一人で撮るのが難しい場合は、友達に持ってもらって撮影するなど、工夫して行うよう促す。</p> <p>○ おすすめのページがはっきりと見えるように、画面いっぱいに、ページが映るよう撮影させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活用ポイント <u>カメラ「写真の撮影」</u> <u>Google「スライド」</u></p> <p>自分が撮影したおすすめの本のページの中で、特に見てほしい箇所に印を付けることで、紹介したい場面を焦点化することができる。</p> </div> <p>○ 丸の図形を事前に教師が用意しておき、特に見てほしい箇所にペン機能を使って動かすことができるようにする。</p> <p>○ 誰がどんなことをしているところが好きか、読むとどんな気持ちになるのかを項目に分けて記入させる。</p> <p>○ 聞き手に分かりやすい声の大きさと読むよう促す。</p> <p>○ 次時では、友達におすすめの本を紹介し、より優れたものは上級生にも紹介することを促し、意欲を高めさせる。</p>

成果と課題

- 教師側が丸の図形を用意しておくことで、スムーズに動かすことができていた。
- 友達と協力しながら写真を撮り合う姿も見られた。
- ▲写真を拡大するのがペン機能では、難しそうだった。マウスで動かす方が容易にできそうだった。
- ▲先に丸の図形を用意することにより、図形が写真の背面になってしまった。事前に、図形を最前面（テキストの前面）に設定しておくとうい。

低学年【慣れる】	すきなきょうかをしようかいしよう ～ピクチャーキッズで好きな教科の絵を描こう～
タブレット使用形態：一人一台	第1学年 国語科 「すきなきょうかはなあに」
【使用したアプリケーション】	ピクチャーキッズ 「お絵かき」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 「ピクチャーキッズ」を開く。</p> <p>2 発表する。</p>  	<p>○ 紹介する児童の絵をすぐ開けるよう用意しておく。</p> <p>○ 好きな教科とその理由を発表させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント ピクチャーキッズ「お絵かき」 ペンやスタンプなどを使ったり、具体物を写真で撮ったりする。教科に関係のあるスタンプも多いので、どの子も短時間で見栄えのよい絵を完成させることができる。</p> </div>  
<p>3 発表を聞く。</p> 	<p>○ 聞き手に分かりやすい声の大きさに促す。</p>
<p>4 振り返る。</p>	<p>○ 手順を確認しながら、描いた絵を保存させる。</p>

成果と課題

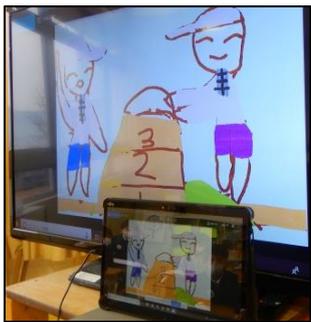
○好きな教科をペンで描いたりスタンプで表現したりと、個々によって工夫しながら集中して取り組むことができた。

○紹介したいものが収まるよう工夫して写真を撮ることができていた。

▲保存した画像をファイルから開くのに戸惑っている児童がいたので、保存場所をクラスファイルにするなど統一しておくとい。

▲好きな教科を二つ説明する場合は、1枚の画用紙を区切るなどの指導も事前に行っておくとい。

低学年【慣れる】	すきなきょうかをしようかいしよう ～Meetを使って絵と言葉で伝えよう～
タブレット使用形態：学級一台	第1学年 国語科 「すきなきょうかはなあに」
【使用したアプリケーション】	Google フォト 「Meet」 「写真を見る」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 Meetを開く。</p> <p>2 発表する。</p>	<p>○ 紹介する児童の絵をすぐ開けるよう用意しておく。</p> <p>○ 好きな教科とその理由を発表させる。</p> <p>○ 聞き手に分かりやすい声の大きさと速さで読むよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>活用ポイント Google「Meet」 フォト「写真を見る」</p> <p>Meet内の「画面共有」を選択することで、別フロアにいる二年生が実際に作成した絵を見せながら発表することができる。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
<p>3 発表を聞く。</p> 	<p>○ 相手が何を伝えたいかを考えながら聞かせる。</p> <p>○ 互いの発表のよかったところや感想を伝え合わせる。</p> <p>○ レイアウトをタイル表示にすることにより、自分だけでなく相手の顔も見えるようにする。</p>
<p>4 学習を振り返る。</p>	<p>○相手に伝わるように話すには、事柄の順序を考え、声の大きさや速さなどを工夫することが大切なことを押さえる。</p>

成果と課題

○画面共有することで、描いた絵をテレビ画面いっぱい映して紹介することができた。

▲ピクチャーキッズで描いた絵を代表パソコンに画像として保存するのに時間がかかった。保存先をクラスファイルなど統一した場所にすることが望ましい。

低学年【慣れる】	新年のちかいカードをつくろう ～ピクチャーキッズで写真入りめあてカードを作る～
タブレット使用形態：一人一台	第1学年 学活 「新年のちかい」
【使用したアプリケーション】	ピクチャーキッズ 「めあて・目標」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 ピクチャーキッズを開く。</p> <p>2 新年のちかいカードをつくる。</p>  	<p>○ ピクチャーキッズで「めあて・目標」のファイルを開かせる。</p> <p>○ 「しゃしんをとる」で自分の顔を撮影させたり、ペンやスタンプで装飾させたりする。</p> <p>○ 一人で写真を撮るのが難しい場合は、友達に持ってもらって撮影するなど、工夫して行うよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント <u>ピクチャーキッズ「めあて・目標」</u></p> <p>写真を撮ったり、ペンやスタンプで写真の周りを装飾したりすることで、短時間で作成することができる。また教師が一人一人の写真を撮る必要がなく、効率的に作業ができる。</p> </div>  
<p>3 印刷する。</p> <p>4 全体交流をする。</p> <p>5 新年のちかいを書き込む。</p>	<p>○ 印刷の手順を説明し、一人ずつ印刷させる。</p> <p>○ 友達の作品の良かったところを伝え合わせる。</p>

成果と課題

- 友達と協力しながら写真を撮り合う姿も見られた。
- スタンプ機能で文字の入力も進んで取り入れていた。
- カメラのレンズを目の高さに合わせて撮影するとよいことを伝えると、「写真を撮るときは、上の枠に頭のとっぺん、枠の下にあごがくるように撮るとはっきりと大きく写すことができる。」と、写真を撮るときのコツを話す児童の姿も見られた。

低学年【慣れる】	アサガオの花を観察しよう ～カメラ機能で細かい部分を観察しよう～
タブレット使用形態：2～3人で一台	第1学年 生活科 「きれいなはなをさかせたい」
【使用したアプリケーション】	カメラ 「写真の撮影」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 写真を撮る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 焦点を合わせたり、被写体の全体が入っているかを確認したりしながらアサガオの花を撮影させる。 ○ 観察しやすいように、撮影する角度や対象を変えて写真を撮影させる。
<p>2 撮影した写真を見ながら、アサガオの花を観察カードに描く。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 撮影した写真を観察しながら、アサガオの花を観察カードにかかせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>活用ポイント <u>カメラ「写真の撮影」</u></p> <p>写真の撮影を行い、撮影した写真を拡大したり縮小したりすることで、花のつくりの細かい部分にも気付かせる。</p> </div>
<p>3 発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 撮影した写真をテレビに拡大表示し、花を指し示しながら気付きを発表させる。 ○ 児童の画面はロックし、電子黒板に集中させる。
<p>4 振り返る。</p>	

成果と課題

○カメラのズーム機能を使うことで、これまで気が付かなかった細かい部分まで花のつくりについて気が付き、描き表すことができた。

○カメラ機能は、使った経験のある児童が多かったため、指導がしやすい。

▲タブレット使用形態を一人一台にすれば、より一人一人が充実して活動できる。

低学年【慣れる】	曲のフレーズに合うリズムを選んで演奏しよう ～カメラ機能を使って演奏を確かめる～
タブレット使用形態：グループ台	第1学年 音楽科 「はくにとってリズムをうとうーかたつむりー」
【使用したアプリケーション】	カメラ 「ビデオの撮影」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 既習の三つのリズムをカスタネットで打つ。</p> <p>2 「かたつむり」の三つのフレーズに、それぞれのリズムを合わせる。</p> <p>3 班でそれぞれのフレーズに合うリズムを選び、練習する。</p>   <p>4 発表する。</p>  <p>5 学習を振り返る。</p>	<p>○ 拍にのる感じを意識するように助言する。</p> <p>○ フレーズごとにリズムを変えて確かめるようにする。</p> <p>○ フレーズの特徴を考え、音を出して試しながら選ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活用ポイント <u>カメラ「ビデオの撮影」</u></p> <p>演奏している様子を録画し、繰り返し自分たちの演奏を視聴しながら話し合わせることで、曲のフレーズにより合うリズムを選ばせる。</p> </div> <p>○ 発表するグループは、なぜそのリズムを選んだのか伝える。</p> <p>○ 聴く人は、グループの演奏でよかったところについて発表させる。</p> <p>○ 自分たちの演奏する姿を客観的に視聴しながら工夫することで、様々な表現の工夫につながったことを振り返る。</p>
<p>成果と課題</p> <p>○自分たちの演奏を客観的に見ることによって、より曲のフレーズに合うリズムを選ぶことができた。</p> <p>○巻き戻して再生することで改善点を見付けることができた。</p>	

